

尾瀬戸倉山林ブナ植林ボランティアについて

平成 17 年 5 月 20 日
東京電力株式会社

1. 経緯

当社は、古くから尾瀬地区に約 18,200ha の土地を所有し（尾瀬および尾瀬戸倉山林）尾瀬の貴重な自然の保護および森林の保全に積極的に取り組んでまいりました。

大正 5 年、11 年	当社の前身である当時の電力会社（利根発電株式会社、関東水電株式会社）が水力発電を目的に尾瀬の土地と水利権を取得。
昭和 26 年～	当社設立に際し、尾瀬（尾瀬、尾瀬戸倉山林）の土地と水利権を継承。尾瀬戸倉山林は元来非常に豊かな広葉樹林であったが、戦後復興期の首都圏における木材需要に対応し、多くの木が伐り出された。
昭和 30 年代後半～	水源涵養林として保育管理してきた。

このうち、約 9,100ha（山手線の内側の約 1.5 倍）の面積を持つ尾瀬戸倉山林は、首都圏の水源として、また尾瀬の自然を守る緩衝地帯としても重要な役割を果たしていることから、より理想的な森林に育てていくこととしました。

戸倉山林は、約 85%（約 7,900ha）がブナ、ミズナラ、トチといった天然広葉樹林、残り約 15%（約 1,200ha）は、昭和 30 年代に植林したカラマツ人工林となっています。

植林ボランティアでは、このカラマツ人工林のうち一部（12ha）の生長の悪い箇所から、元来のブナを代表とする広葉樹の森に戻していくこととしております。

2. これまでのボランティア実施状況

(1) 実施回数：計 8 回（平成 9 年より毎年実施）

(2) 延べ参加者数：約 3,400 名

地元の群馬県立尾瀬高校自然環境科の生徒さん、森林保全 N G O「オイスカ」のメンバー、当社社員などのほか、参加者の一般公募を行っており、毎年約 3 倍近い応募をいただいております。

(3) 総植林本数：約 2 万本（2,500 本 / 回）

(4) 総植林面積：約 4 ha（0.5ha / 回）

(5) 作業内容：地ごしらえおよびブナ苗の植え付け

3. 第 9 回ボランティアの概要

(1) 日 程：平成 17 年 5 月 25 日（水）～ 27 日（金）

(2) 延べ参加者数：280 名

ボランティアにご応募いただいた 190 名の皆さまに加え、尾瀬高校の生徒さん 40 名、「オイスカ」より 30 名、当社社員 20 名が参加予定です。

(3) 植林本数：2,500 本

(4) 植林面積：0.5ha

植林の様子



< 尾瀬戸倉山林の概要 >

位 置	群馬県片品村 尾瀬に隣接し、標高1,000mから2,000mにかけて広がる。
面 積	約9,100ha
内 訳	天然広葉樹林（ブナ、ミズナラ、トチ等） 約85% 7,900ha カラマツ人工林 約15% 1,200ha
法規制	自然公園法 日光国立公園の特別地域および普通地域

< 参 考 > 6 月 5 日の世界環境デーを機に、都会を行き交う方々に環境保護について考えていただくきっかけになればと考え、当社とソニービルとのタイアップによる企画展示（ミズバショウや木道、木々などで「ミニ尾瀬」を造作）を、5 月 23 日（月）から 6 月 5 日（日）まで、東京・銀座ソニービルで行う予定です。